


8. 認知症の経過と対応・サービス

～予防から認知症の進行に合わせて対応していくことが大切です～

認知症の進行	正常なレベル	軽度認知障害 (MCI)	認知症		
			軽度	中等度	重度
本人の様子	 <ul style="list-style-type: none"> ●物の忘れが見られ、人や物の名前が思い出せない事が時々ある ●日常生活は自立している 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症の疑い ●日常生活はほぼ自立 <ul style="list-style-type: none"> ●つじつまが合わない話をする ●同じ事を何回も聞く ●同じものを何度も買って来る ●料理の片付け、計算等ミスが目立つ ●『物を盗られた』と言うようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ●誰かの見守りがあれば日常生活は自立 <ul style="list-style-type: none"> ●お薬の管理ができない ●使いなれた道具の使い方が分からなくなる ●着替えや入浴を嫌がる ●道に迷うようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活に手助け・介助が必要 ●常に介護が必要 <ul style="list-style-type: none"> ●トイレの失敗が多くなる ●家族の顔や名前が思い出せなくなる ●反応が鈍くなり言葉が減る ●運動機能が低下し、食べたり歩いたり困難になる 	
家族の心構え	<ul style="list-style-type: none"> ●社会参加や趣味活動への働きかけ ●認知症を正しく理解する。 ●いつもと様子が違うと思ったら早めに相談する (P6~10) 		<ul style="list-style-type: none"> ●介護サービスを上手に利用する 		<ul style="list-style-type: none"> ●緊急時の対応を整理しておく ●どのような終末期を迎えるか家族間で相談しておく
予 防	いきいき体操・地域いきいき教室 (P11)、 特定健診、 健康講座、 まちかどセルフチェック (健康介護まちかど相談薬局 P11)				
	老人クラブ (P14)、ふれあい・いきいきサロン (P11) いきいき介護ボランティアポイント事業 (P11)				
	認知症カフェ (P12)				
生 活	配食サービス、 食材・日用品配達サービス、 シルバー人材センター				
	日常生活自立支援事業 (あっぷるハート) (P15)、 十和田市消費生活センター (P15)			成年後見制度・成年後見センター (P15)	
医 療	かかりつけ医				
	認知症サポート医、 もの忘れ外来 (P8)、 認知症疾患医療センター (P8)、 若年性認知症サポートセンター (P9)				
	もの忘れ相談 (P8)		認知症初期集中支援チーム (P12)		訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問診療
住まい	自宅、軽費老人ホーム (介護保険外サービス)、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型グループホーム、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム				
介 護	介護の相談窓口 地域包括支援センターなど (P6~10)			家族介護慰労事業、家族介護用品支給 (紙おむつ)	
	訪問型、通所型サービス (介護予防・日常生活支援総合事業)		通所介護、デイケア、住宅改修、短期入所、福祉用具貸与・販売 (介護保険サービス)		
	認知症カフェ (P12)、 認知症の人を抱える家族のつどい (P14)				
見守り	ほのぼの交流事業、 福祉安心電話、 民生委員や地域による見守り支援 救急医療情報キット (P14)				
安否確認	高齢者見守りネットワーク事業、 高齢者あんしん見守り協力隊 (P13)、 高齢者あんしんカード (P13)、 避難行動要支援者事業				
	認知症サポーター養成講座 (P14)、 徘徊高齢者等支援事業 (P13)				